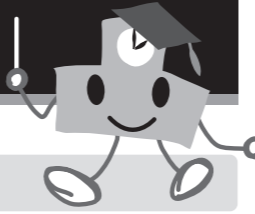


中学校の事例 北区 太平中学校

地域の清掃活動と雪遊びボランティアから住みよい街づくりを意識。

多くの生徒が有志で集まり長期休み中のボランティア活動に参加。地域と関わる体験を大切にしながら活動の意義や環境とのつながりを意識させ、生徒たちの視野を広げていきたい。



内容 地域とのつながりを意識し ボランティア活動を

夏休み期間中には、地域の清掃活動を行っている。平成22年が3回目の活動で、生徒会で参加者を募集したところ、今年は50～60人が参加した。

火ばさみと、分別用のいくつかのごみ袋を手にグラウンドを出発し、グループごとにコースを分け、公園や歩道を清掃した。主なごみはタバコの吸い殻や使用済みの花火、ペットボトルなどであった。それらのごみを最終的に地域の大きな公園に持ち帰り、学校で処理をしている。

冬休みには、地域の保育園に行き、園児と一緒にかまくらや迷路を作って雪遊びをしたり、室内で絵本の読み聞かせをしたりするボランティア活動を行っている。

こちらは2年目の取組で、夏の清掃活動と同様、生徒会が希望者を募り、全校生徒の約3割にあたる66人が参加した。



清掃のようす

効果 体験から環境意識をもつようになり 地域との交流も円滑に

身近な地域を住みよくするという環境意識が育つことに加え、この2つの活動により、地域とのつながりが生まれ、中学校のカリキュラムにある「職場体験」での受け入れが容易になっている。依頼をする企業や店舗は30カ所ほどにもなるので、スムーズに受け入れ許可をいただけるかどうかはとても重要なことである。

また、核家族化や少子化が進む中で、年齢のちがう人と接する機会は減っており、様々な年代の方と関わる機会は子供たちにとってとても貴重な体験である。コミュニケーションの取り方や社会性などを自然に身につけていけるのではないかと考えている。



2年生 職場体験

今後 交流の機会をより多くすることで環境につながっているという意識づくりを


「環境」という言葉を前面に掲げることはしないで、まずは地域の方々との交流の機会を増やしていきたいと考えている。この交流により、自分たちの地域にある身近な施設などを素材にして活動の意義を考え、環境につながっているという意識をもつことや、生徒たちの視野を広げていくことを大切にしていきたい。高齢者福祉施設でのボランティア活動もできればと考えているが、近隣に施設がないため、現状ではなかなか難しい。



スノーフェスティバル 絵本読みきかせ

広げよう
つなげよう
環境学習の輪

環境教育は、昨年度より札幌市全体で取組んでいる「札幌らしい特色ある学校教育(雪・環境・読書)」の一つでもありますので、施設設備や教材、ビデオなどに費用を充ててもらえると大変ありがたいと思います。



**実施校から
メッセージ**